

トピックス

TOPICS 1

北米向け・無線通信応用機器が引き続き堅調

昨年から引き続きCB製品、スキャナーラジオが堅調に販売を伸ばし利益を上げております。

CB製品は、ディスプレイのバックライトを7色の中から自分好みの色に変更できる製品など、イメージを刷新するデザインが若い世代から高い支持を受けました。また、CBユーザーが多く利用するトラック・ストップスへのプロモーションが成功し、売上増につながった結果、前年同四半期比64%増と好調に推移いたしました。



ワイヤレスマイク機能付きCB無線機

スキャナーラジオは、昨年から引き続き郵便番号と連動するコンセプトの商品の販売が堅調だった他、新しい通信方式に対応し、より多くのチャンネルを選択できる製品の投入が販売の拡大に大きく寄与いたしました。

デジタルスキャナー



TOPICS 2

オーストラリア・セキュリティ市場での事業拡大
ワイヤレスカメラ・モニタ、ドライブレコーダ
が増収・増益に寄与

新しい事業展開として、一昨年からセキュリティ市場に投入しているワイヤレスカメラ・モニタ、ドライブレコーダが着実にマーケットシェアを伸ばし増収増益に寄与しています。

ワイヤレスカメラ・モニタはラインナップの拡充に加え、新たにIP Cameraを投入し優良販売店への販売強化を進めました。

またドライブレコーダは1080PフルHD画質に加え独自の警告機能を備えた新機種が支持され、販路を拡大しております。

この結果、売上が前年同四半期比38%増となりました。



インドアIPカメラ



警告機能付きドライブレコーダ

■ 会社概要 (2014年9月30日現在)

会社名	ユニデン株式会社 Uniden Corporation		
設立	1966年(昭和41年)2月7日		
資本金	359億99百万円		
本社住所	〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7		
社員数	86人		
グループ社員数	1,438人		
拠点数	海外12社・7カ国・7拠点		

■ 取締役および監査役 (2014年9月30日現在)

代表取締役会長兼社長	藤本 秀朗	取締役	田中 康俊
代表取締役専務	藤代 雅之	取締役	金城 一樹
取締役	星久木 淳	取締役	大澤 英治
取締役	志記壮 一郎	取締役	饗場 俊之
取締役	内藤 英夫	常勤監査役	佐藤 宗生
取締役	宮沢 泰廣	監査役	黒田 克司
取締役	金子 洋史	監査役	南 惟孝

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載URL	http://www.uniden.co.jp/ir/library.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

株主名簿管理人・特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人<三菱UFJ信託銀行>ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

【単元未満株式の買取について】

1,000株未満(単元未満)の株式は市場で売買することはできませんが、所定の用紙で買取のご請求をいただくことにより、時価で当社にご売却いただくことができます。お取引口座のある証券会社にお申し出ください。

Uniden®

ユニデン株式会社

Interim Report 2015

2015年3月期 中間株主通信

2014.4.1 ▶ 2014.9.30

株主の皆様へ

平素はユニデングループに格別のご支援を賜り、篤く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては緩やかな景気回復基調に転じているものの、下振れ懸念は払拭されない状況の中で推移いたしました。欧州においては、ウクライナや、中東における地政学的リスクが経済において大きな影を落とし、不安定な展開を見せておりました。また、新興国においては、景気は減速気味に推移し、不透明感を伴う状況を見せておりました。我が国経済は、政府による金融政策や経済政策などを背景に企業収益の持ち直しや雇用環境の改善がみられる一方で、増税に伴う実質所得減による消費抑制、輸出低迷の影響から景気後退を懸念する状況が見られます。

このような環境の中、当社グループでは、採算性重視の経営方針を継続して推し進めてまいりました。主力の無線通信・応用機器部門においては、Scanner Radio(スキャナーラジオ)、CB無線機器の北米、欧州における更なる市場シェア拡大が進みました。一方、Video Surveillance(ワイヤレスカメラ・モニター)は、継続的に販売活動を展開したものの、市場での需要が頭打ちとなり、伸び悩みました。なお、不動産事業においては、物件の賃貸及び売買買取金額の着実な増加により、当社グループの大きな柱へと成長を続けております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高8,230百万円、営業利益431百万円、経常利益495百万円、四半期純利益288百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、企業価値の最大化、業績向上に努めてまいりますので、引き続き力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

2014年11月

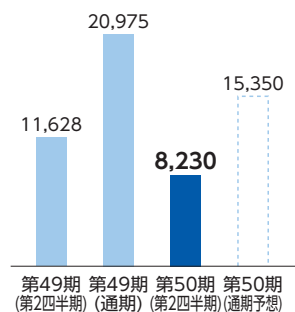
代表取締役会長兼社長 藤本 秀朗

決算ハイライト

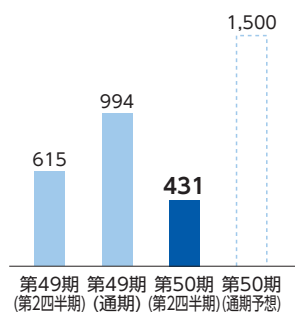
■ 連結財務データ

	第49期 第2四半期	第49期	第50期 第2四半期	第50期 (予想)
売上高 (百万円)	11,628	20,975	8,230	15,350
営業利益 (百万円)	615	994	431	1,500
売上高営業利益率 (%)	5.3	4.7	5.2	-
経常利益 (百万円)	698	980	495	1,450
四半期(当期)純利益 (百万円)	760	593	288	1,100
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	12.91	10.06	4.89	18.68
総資産 (百万円)	36,421	36,130	36,790	-
純資産 (百万円)	31,058	31,129	31,276	-
1株当たり純資産 (円)	527.51	528.78	531.36	-

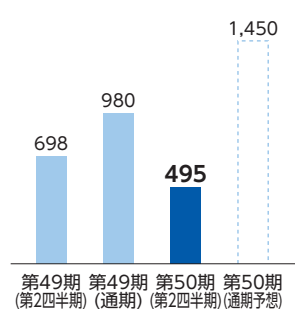
■ 売上高 (百万円)



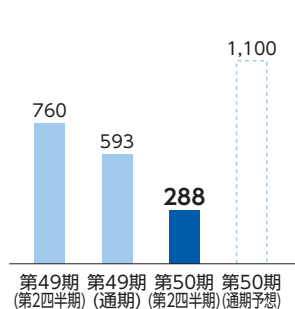
■ 営業利益 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



■ 四半期(当期)純利益 (百万円)



さらに詳しい決算情報は、
当社IRサイトをご覧ください。

ユニデン IR

検索

部門別売上高

エレクトロニクス事業

売上高

73億円

当事業では、主に、電話関連機器、無線通信・応用機器、デジタル家電機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は7,338百万円となりました。事業部門別の内訳は主に次のとおりであります。

■ 電話関連機器部門

売上高 19億円

当部門では、北米市場において、Business Phone (ビジネスフォン)の売上が好調に推移したものの、主要カテゴリであるDECT6.0コードレス電話の販売数量が減少し、当部門全体では売上台数52万台、売上高1,928百万円となりました。



■ 無線通信・応用機器部門

売上高 48億円

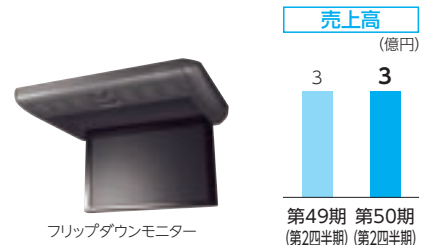
当部門では、北米市場におけるScanner Radio (スキャナーラジオ) や、欧州市場や北米市場におけるCB無線機器が好調に推移したものの、Video Surveillance (ワイヤレスカメラ・モニター) は、好調であった前期の反動により、販売台数の落ち込みが見られました。当部門全体では売上台数68万台、売上高4,838百万円となりました。



■ デジタル家電機器部門

売上高 3億円

当部門では、地上デジタルチューナーの販売単価が低下し、販売台数が落ち込んだものの、車載用モニターの販売台数が好調であったことから、売上台数3万台、売上高344百万円となりました。



不動産事業

売上高

7億円

当事業では、不動産物件の販売売上、賃貸売上がともに好調に推移したことから、売上高777百万円(前年同四半期は17百万円)となり、大幅増益となりました。

家庭教師事業

売上高

0.5億円

当事業では、事業の見直しによりゲーム事業、EC事業等のその他の事業を廃止したことにより、事業全体としての売上高が減少したものの、家庭教師の派遣事業に一本化し、「より質の高いサービスの提供」をコンセプトに新規顧客獲得に注力してまいりました。その結果、当事業の売上高は48百万円となりました。